脱炭素社会の構築や自然災害、ひと中心の働きや暮らし、地方創成や縮退地域の包括ケアなど、多様な社会的課題に対して建築分野では何を考えるべきか、これからの建築・住まいやまちづくり・しくみをどのように変遷させればよいのか、について、名大・建築学教室の教員が取り組む研究を題材に若手研究者と情報交換を行うとともに、この議論を通して、建築を志す若者に研究の魅力を伝えたい。

第 27 回　まちとすまいの集い

これからの“まち・住まい”と建築学研究

日　時：　2025 年 11 月 17 日（月）13：30〜16：30

場　所：　名古屋大学東山キャンパス　環境総合館 1 階レクチャーホール

参加費：　無料

申込先：https://forms.office.com/r/hBs1AZerGj

事前申込

【プログラム】

13:30　開会あいさつ、趣旨説明

13:40 〜 15:10　第 1 部　話題提供

小松 尚　計画を研究する／研究から計画をする

田中 英紀　環境技術から描く脱炭素時代の建築像

長江 拓也　建築学の調和の中での建築構造のすすめ

15:20 〜 16:25　第 2 部　パネルディスカッション

① 若手研究者の紹介

今和泉 拓　愛知工業大学工学部　建築学科

Aili Abudushalamu　名古屋大学環境学研究科　建築学系

石橋 良太郎　竹中工務店　名古屋支店設計部　設備 1 グループ

② 総合討論：「建築学研究の今とこれから」

（コーディネーター：李）

主　催：　名古屋大学大学院環境学研究科　建築学教室

問合せ：　名古屋大学建築学教室　まちとすまいの集い事務局（li.yan.t2@f.mail.nagoya-u.ac.jp）

